

プロモーションアドバイザーの活用事例【熊本市】

経済交流課

2017年12月及び2018年2月に熊本市にプロモーションアドバイザーの株式会社やまところを派遣しました。

プロモーションアドバイザー事業は海外プロモーションの専門知識を有するアドバイザーを自治体に派遣し、プロモーションの企画段階において相談対応や情報提供を行い、自治体の海外プロモーションを支援する制度です。

派遣の目的は「2019年ラグビーワールドカップの一部及び2019年ハンドボール女子世界選手権大会が熊本県で、2020年オリンピック・パラリンピックが日本で開催されることに伴い、外国人観光客の増加が見込まれるため、外国人の受け入れ態勢整備及び効果的な情報発信を考えている。そこで、アドバイザーに現地を視察してもらい、現在の課題や今後のプロモーションについて助言をいただきたい」というものでした。

1回目の派遣では2日間にわたって、観光農園の吉次園、瑞泉寺（味取観音堂）及び植木温泉の旅館5軒を視察し、それぞれ個別にオーナーや女将と意見交換を行ったうえでアドバイザーが助言しました。2回目の派遣では、初日に前回視察できなかった植木温泉の旅館4軒を視察し、前回同様、意見交換と助言を行いました。また、2日目には前回のフォローアップとして個別相談会を開催し、前回指摘事項の進捗確認や疑問点の相談などが行われました。

アドバイザーは、既に外国人観光客が来ている施設に対しては、受入環境整備による満足度向上について、あまり集客がない施設に対しては、外国人誘客のターゲット及びそのターゲットに対する効果的なプロモーションについて助言しました。また、各旅館の外国人受け入れに関する悩み等を引き出し、今後の方向性について市の職員も交えて話し合いが行われました。

派遣をうけて温泉旅館の女将からは「セミナーとは違い個別にアドバイスをうけることができ、セミナーでは相談できないようなことも相談できて、非常に有意義だった」という意見を頂きました。また、熊本市担当者からは「今後の誘客プロモーションの具体的な検討につながった」、「入浴や食事に関する英語標記や植木温泉周辺の英語マップ作成など受け入れ環境整備を進める」という声が聞かれました。

今回の派遣は温泉旅館等の視察先で個別の事情に対してアドバイスをを行った事例ですが、インバウンドに取り組みたいが何から始めてよいか分からないといった漠然とした相談から、海外向けの動画を作成したい、地元のお茶をカルフォルニアに輸出したいといった具体的な相談まで幅広く対応しておりますので、ぜひ積極的にご活用ください。

【参考：第1回派遣の行程】

【メディアへの掲載（熊本日日新聞）】

1日目

| 時刻 | 場所 |
|------------|------------|
| 10:00 | 市役所 集合・挨拶 |
| 10:30 | 観光農園 視察・ |
| 昼食・植木温泉へ移動 | |
| 13:30 | 瑞泉寺（味取観音堂） |
| 15:00 | 植木温泉旅館① |
| 16:30 | 植木温泉旅館② |

2日目

| | |
|-------|---------|
| 8:30 | 植木温泉旅館③ |
| 10:00 | 植木温泉旅館④ |
| 11:30 | 植木温泉旅館⑤ |
| 昼食・総括 | |
| 14:00 | 解散 |



【フルーツ農園での助言内容（抜粋）】

- ・香港等フルーツを持ち帰ることができる国・地域の旅行者に対して「お土産パック」を取り揃えることが消費額増加につながる。
- ・韓国人個人旅行者が全く来ないという現状をうけ、韓国人に人気のあるカフェを活用したプロモーションが有効であること。



フルーツ農園視察

【植木温泉旅館での助言内容（抜粋）】

- ・外国人誘客のためには海外旅行予約サイトの登録が有効であること。
- ・食事時間や注意事項を外国語でまとめた案内シートの作成、入浴方法のポスター活用など、外国人観光客に対する受入環境整備に関すること。



旅館での意見交換